

2025. 12. 15

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

**田中手帳株式会社と立命館大学デザイン科学研究所
「防災デザイン」をリ・デザインする：未来社会の価値を創るワークショップを開催**

立命館大学デザイン科学研究所(所在地:大阪府茨木市、所長:後藤智、以下「立命館」)と田中手帳株式会社(所在地:大阪府大阪市、代表取締役:田中尚寛)は、従来の「備える／耐える」防災の枠を超え、感受性や身体性を通じて自然と向き合う新しい姿勢と可能性を提示する取り組みを開始します。

その第一歩として、「Sense of BOSAI DESIGN 感じる、BOSAI。」をテーマに、次世代コンセプト「BOSAI」を探求するワークショップ(全4回)を実施します。第1回は2025年12月19日(金)に、グラングリーン大阪(所在地:大阪市北区)内の立命館 ROOT で開催します。

現代社会が直面する気候変動や災害の複雑化に伴い、従来の技術中心の防災では十分に対応できない状況が顕在化しています。立命館と田中手帳は、防災デザインの再定義を目指し、多様な専門領域の知見を結集することにより、実践可能な仕組みの構築に向けて、共同研究に取り組んでいます。

今回開催するワークショップ「Sense of BOSAI DESIGN 感じる、BOSAI。」では、クリエイティブ・ディレクター、まちづくり企業、海上自衛隊、音楽家など幅広い分野からゲストスピーカーを招き、「防災の技術」を超えた「未来の BOSAI」のあり方を議論します。さらに、具体的な提案やプロトタイプの新出を目指します。

■共同研究について

立命館大学デザイン科学研究所が持つ「豊かな生活」を実感できる時空間の創造に関わる豊かな知識体系と、田中手帳が培ってきた「手帳×防災」をテーマとする実践的な経験を融合し、新たな価値創出に取り組めます。

本共同研究では、①「**防災デザイン**」の再定義(哲学、文化、技術、環境の視点を統合し、防災におけるデザインの新たな意味と役割を明確化)、②**多分野の知見の結集**(多様な学術・実践分野の知見を結集し、新たな概念を創出)、③**実践可能な仕組みの構築**(ワークショップを通じて具体的な提案やプロトタイプを提示)を目標とし、人と自然の共存を見据えた次世代型の防災モデルを提示します。さらに、社会教育プログラムの開発を推進し、ワークショップやセミナーなどを通じて企業・地域社会・教育機関等と連携し、防災とデザインとの連携の重要性を社会に発信していくことを目的としています。

■「BOSAI」に託す思い

田中手帳における防災は、手帳の持つ「人の生活を記録する」という特性が、災害を後世に伝えようとする石碑(自然災害伝承碑)と似た一面があると気づいたことから始まっています。「BOSAI」は、日本が誇る命を守る知恵・文化であり、「MANGA」と同じく世界に発信できる文化です。まずは、日本人自身が自助・共助の精神を育み、地域で災害弱者(要配慮者)を取り残さない体制を整えることが重要だと考えます。

「BOSAI ユニバーサルデザインハンドブック」は、防災をシンボル化し、人命を守るための軽量でシンプルなアナログツールとして評価され、大阪・関西万博での出展へとつながりました。今後も「防災」と「手帳」を結ぶ新たな発想のもと、多様な分野と協働し、安全・安心な未来づくりに貢献していきます。

■「Sense of BOSAI DESIGN 感じる、BOSAI。」第1回ワークショップ 概要

日時:	2025 年 12 月 19 日(金) 18 時 30 分～20 時 30 分
会場:	立命館 ROOT (大阪市北区大深町 6-38 グラングリーン大阪 北館 JAMBASE5 階)
対象:	一般、学生 「新しい防災」や未来のレジリエンスに関心のある方、組織・企業・自治体の BCP やリスクマネジメントを担う方、新規事業開拓やオープンイノベーションに携わる方、クリエイティブを社会共創に活用したい方、デザイン・アート学部／研究科に興味をお持ちの方、社会意義のある組織、企業と出会いたい方を歓迎します。
参加費:	無料(「BOSAI 手帳」を無料贈呈)
申込方法	Peatix より申込 http://kanjirubosai.peatix.com
主催:	立命館大学デザイン科学研究所 DML(Design Management Lab) 田中手帳株式会社
共催:	Special operation design 株式会社

※今後のワークショップについては、随時 Peatix で公開します。

立命館大学デザイン科学研究所について

人々が「豊かな生活」を実感することのできる時空間の創造を目指し、デザイン科学のアプローチでの社会課題の解決に取り組む研究機関です。産業界、地域社会、行政と連携し、実社会におけるデザインの実践知を蓄積し、持続可能な社会づくりに貢献しています。

Web サイト:<https://www.ritsumeai.ac.jp/research/rcds/>

田中手帳株式会社について

田中手帳株式会社は、1917 年創業以来、紙製品、特に手帳の製造において高い品質と実績を誇る企業です。近年では、デジタル技術と紙の良さを融合させた製品開発にも注力しており、防災に関する製品やサービスの提供を通じて社会貢献を行っています。特に「防災手帳」は、日常生活で活用できる防災ツールとして多くの支持を集めています。

Web サイト:<https://www.tanakatechou.co.jp/>

【参考】立命館大学デザイン・アート学部、大学院デザイン・アート学研究科について

2026 年4月開設予定の学部、研究科。歴史・文化都市「京都」に位置する衣笠キャンパスにおいて、未来志向の新たなデザイン学の追求とアートの技術・感性を基盤に自然科学と人文・社会科学領域を横断した教育・研究の展開を行います。リアルだけでなく、オンライン・オンデマンド・バーチャル空間などを利用し、多様な社会に適したより柔軟で高次元の学びの環境を整備予定です。美的感性に裏打ちされた、「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に身につけた、クリエイティブで柔軟な思考を涵養します。

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材および内容に関するお問い合わせ先

- ・立命館大学広報課 担当:岡本 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp
- ・田中手帳株式会社 担当:清住 TEL.06-6681-8648 Email. kiyozumi@tanakatechou.co.jp